

未来は変えられる - 原発ゼロと住民本位の福島復興をめざす大運動

～3.11 から 15 年 再エネ転換でいのちとくらしがまもられる社会へ～

行 動 提 起

2025 年 11 月 8 日(土)
原発をなくす全国連絡会

1. 大運動の意義

東京電力福島第一原発事故から来年 3 月で 15 年を迎えます。今なお続く原発事故からの復興は、これまでの災害復興では経験しえない放射能汚染被害からの復興であり、時間的、空間的、経済的、そして地域コミュニティそのものが壊され、その地に戻り暮らすことさえも困難をきたす、きわめて異質な被害です。

こうした現状に目を背け、原発事故などなかったかのように原発推進へ舵をきった政府の姿勢とエネルギー政策を問い、原発事故被害の現状から、私たちはどんな未来を選択するのか、15 年目を迎えるにあたって、「未来は変えられる一原発ゼロと住民本位の福島復興をめざす大運動～3.11 から 15 年 再エネ転換でいのちとくらしがまもられる社会へ～」を提起します。

2. 獲得目標

- 1) 東京電力福島第一原発事故から 15 年経った福島の今を共有・連帯し、原発再稼働・新增設を許さない全国各地の運動と力を合わせ、原発ゼロの運動を前進させること
- 2) 原発推進の社会的不正義性を明らかにし、原発事故は国と東電の責任であることをただし、住民本位の福島復興をすすめること
- 3) 原発依存のエネルギー政策を問い、安全・安価でクリーンな再生可能エネルギーへの転換を呼びかけ、国民的議論を広げること

3. とりくみの具体化

1) 期間 2025 年 11 月～2026 年 10 月

2) おもな課題

- ①署名の推進：「原発ゼロと再生可能エネルギーへの転換をもとめる請願署名」を 2026 年 10 月までに 50 万筆を目標にとりくむ
- ②福島の中の共有：被災地の視察・懇談
- ③被災地の運動への連帯（津島訴訟・海洋放出訴訟等）
- ④福島と全国各地の原発ゼロをめざす運動を結びつけるキャラバン行動
- ⑤宣伝グッズの作成（署名チラシ・のぼり・プラスター）
- ⑥院内集会（署名提出・政府交渉） 第 1 回：2/12(木)・第 2 回：10 月予定
- ⑦3/7(土) フクシマ原発事故から 15 年 とめよう原発 3.7 全国集会（代々木公園）
- ⑧映画等の上映運動
- ⑨学習会の開催 2026 年 2/18(水) 18:00～19:00 「ふくしまの今」講師：伊藤達也氏

3) 財政 目標 300 万円

4. ふくしま大集会の開催

日時：8 月 30 日(日) 午後

場所：パルセいいざか（福島市内）

規模：2,000 人(室内集会)